

みずほ「アジサイ」プラン

ア 安心して ジ 自分の花を サ 咲かせる イ 居場所

～瑞穂市には、あなたが安心して過ごせる居場所があります～



学 校

家 庭

教育支援センター

■学校との連携 担任、教育相談担当職員、管理職と情報共有し、保護者の方と共に考えます。 ■教育支援センターとの連携 教育相談員やスーパーバイザーが不安や悩みの相談にのります。

■魅力ある学校づくり

市内の10校は、それぞれ学校の特色があります。子どもにとって、学校がさらに魅力的な居場所になるように、特色を推進しています。

■分かりやすい授業づくり

一人一人の子どもにとって、授業が楽しく、「分かった。できた。参加できた。」と実感できるように、一手間掛けた授業を行っています。

■学級での居場所づくり

学校生活で自分の居場所を見つけ、大事にされていると実感できるように、よさみつけや協働的な活動を位置付けています。

■SOSの出し方に関する教育

SOSの出し方に関して、学ぶ機会を位置付けて、子どもたちが不安や悩みを一人で抱えこまないようにします。

■学校風土の見える化

いろいろな機会を通して、保護者や地域の方の声を聞いて、学校経営に反映し、子どもが安心して過ごせる学校づくりに努めます。

■学校での居場所の確保

各校で、校内教育支援センター等を設置し、教室に入ることができない子が安心して過ごせるようにします。学習や活動の支援をするとともに、協働的な活動も取り入れて学校生活の充実を図ります。

■相談体制の充実

教育相談担当を位置付け、子どもたちの声に素早く対応します。また、スクールカウンセラーや教育相談員と連携を図るなど、子どもと保護者のSOSに応えていきます。

未然防止

早期対応

自立へ支援

■アジサイスクール（教育支援センター）

社会的な自立をめざし、コミュニケーション能力を高める活動を行ったり、基礎的な学力の定着を図るために学習したりします。オンラインで学校の授業を受けることもできます。午後からは、体育館で身体を動かしたり、自分の好きな活動に取り組んだりできます。また、教育相談員や、週1回来室するスーパーバイザーが困りごとや悩みごとの相談にのります。



■アジサイ ほっとステーション（ココロかさなるCCNセンター）

自分のペースで、自分が行いたい活動に取り組みます。自分の好きなことに没頭できるので、エネルギーがたまります。教育相談員がいますので、悩みごとの相談にもなります。



■アジサイ メタプレイス（自宅）

家庭以外とのつながりを生むために、タブレットを使って、「仮想空間」上でやりとりを行います。まずは、何気ない会話や興味があることについてやりとりし、その後、悩みごと、学習など、様々なことについて教育相談員が関わります。



保護者の方へ

■お子さんにこんな姿はないですか？

- ☐口数が減る ☐好きなことをやりたがらない ☐学校的话题を避ける
- ☐頭痛、腹痛等を頻繁に訴える ☐微熱が続く ☐よく泣くようになる
- ☐笑顔がなくなる ☐過眠、または眠れなくなる ☐強く甘える、怖がる
- ☐朝起きられない ☐ゲームの時間が多くなる ☐生活リズムが乱れる
- ☐着替えや歯磨き、入浴等の基本的な生活習慣が乱れる ☐家に閉じこもる

上記は、子どもの心が疲れているサインの一つです。子どもは、不安や悩み、緊張、ストレスがあると、心や体調に表れやすいです。このような状態が続くと、子どもは学校に行きづらくなることがあります。

■まずは、相談しましょう

お子さんの様子で「いつもと違うな」と感じたら、まずは一番相談しやすいところに相談してください。学校であるならば、担任、学年主任、養護教諭、教育相談担当、管理職、スクールカウンセラー等、誰でもいいので、話しやすい人に話を聞いてもらいましょう。相談することで、お子さんも保護者の方も、心の負担を軽くすることができるとともに、外へのつながりが継続していることの安心感を得られます。

■学校以外の相談場所

- ☐瑞穂市教育委員会 学校教育課（8:30～17:15）
TEL 327-2116
※学校教育全般にかかわる相談を受け付けます。
- ☐瑞穂市教育委員会 学校教育課 教育支援センター（10:00～15:00）
TEL 322-8222
 - アジサイスクール（主に学習、自立支援）
 - アジサイほっとステーション（主に自立支援）
 - アジサイメタプレイス（主に自立支援）※学校に行きづらさを感じている子に対して、個別指導や体験活動を通して、自信回復と自立を支援するとともに、相談にも応じます。
- ☐瑞穂市役所 子ども支援課 こども家庭センター（8:15～17:15）
TEL 322-5670（相談専用）
※子育て全般についての相談や、関係諸機関との連携も行います。
- ☐瑞穂市社会福祉協議会（8:30～17:15）
TEL 327-8610
※暮らしの悩みを聞いたり、関係諸機関につないだりします。
- ☐岐阜教育事務所 学校地域連携係 教育相談ほほえみダイヤル
TEL 0120-745-070（9:30～16:15）
※登校、いじめ、学校生活、学習、進路など、児童生徒に関する相談に応じます。必要に応じて、面接による相談も受けます。

みずほ『アジサイ』プラン



瑞穂市は「みずほ『アジサイ』プラン」を策定し、市内に住む全ての小学生、中学生に対して、学校や家庭、その他の場所でも安心して過ごせる居場所を提供します。

瑞穂市教育委員会



みずほ「アジサイ」プラン策定にあたって ～安心して、自分の花を咲かせる居場所づくりのために～

不登校は休養し、自分を見つめ直す機会です

不登校とは、様々な原因や背景により、結果として不登校状態になることであり、誰にも起こり得るものです。その行為を「問題行動」と判断せずに、「不登校の子どもがよくない」という意識を無くすことが大切です。不登校は、休養しエネルギーを貯め、自分を見つめ直す機会でもあります。

まずは、学校・家庭・地域が不登校の子どもに寄り添い、受け入れる気持ちをもつことが、子どもの自己肯定感を高めることに繋がります。

学校復帰だけではなく、社会的自立を目指します

子どもは、本来誰もが、「明日はもっと素敵な自分でありたい」と思っています。本市では、そのような子どもの気持ちを大切に、その子に応じた支援を大切にしています。特に不登校の子どもへの支援は、「学校に登校する」という結果だけを目標にするのではなく、子どもが自分たちの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指します。そこで、みずほ「アジサイ」プランを策定し、子どもの意思を十分に尊重しつつ支援を行い、誰もが安心して過ごせる居場所を確保しながら、自立への基礎を養っていきます。

みずほ「アジサイ」プランでの支援

このプランでは、「未然防止」「早期対応」「自立への支援」というそれぞれの段階で、その子に応じた居場所を提供し、学習や様々な活動への支援、友達との関わり方の助言を通して、他人や社会とのつながりを実感し、その大切さを味わうことができるようにしていきます。

学校、家庭、教育支援センター、スクールカウンセラー、関係諸機関と連携を密にしながら、不登校の子どもとその保護者の方に対する必要な情報の提供、助言を行います。また、魅力ある学校づくりを推進し、チーム学校の整備や相談体制の構築も大切にしていきます。

全ては、一人一人の子どもの自立のために、みずほ「アジサイ」プランを実施していきます。